2026年11月13日

各　　位

会　社　名　株式会社Ｂｅｒｒｙ
代 表 者 名　代表取締役社長　中野　裕士
（コード番号：681A　東証グロース市場）
問 合 せ 先　取締役　　小山　智士
（TEL　03-6231-7706）

# 2027年５月期の業績予想について

2027年５月期（2026年６月１日～2027年５月31日）における当社の業績予想は、次のとおりであります。

【個別】　（単位：百万円、％）

| | 2027年５月期（予想） | | | 2027年５月期第１四半期累計期間（実績） | | 2026年５月期（実績） | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 対売上高比率 | 対前期増減率 | | 対売上高比率 | | 対売上高比率 |
| 売　上　高 | 1,917 | 100.0 | 40.0 | 391 | 100.0 | 1,369 | 100.0 |
| 営 業 利 益 | 481 | 25.1 | 55.3 | 97 | 24.8 | 310 | 22.7 |
| 経 常 利 益 | 478 | 25.0 | 52.2 | 98 | 25.2 | 314 | 23.0 |
| 当期（四半期）純利益 | 325 | 17.0 | 45.4 | 67 | 17.3 | 223 | 16.3 |
| １株当たり当期（四半期）純利益 | 74円59銭 | | | 16円56銭 | | 54円53銭 | |
| １株当たり配当金 | 0円00銭 | | | － | | 0円00銭 | |

（注）１．当社は、連結財務諸表及び四半期連結財務諸表を作成しておりません。
２．2026年５月期（実績）及び2027年５月期第１四半期累計期間（実績）の１株当たり当期（四半期）純利益は、期中平均発行済株式数により算出しております。2027年５月期（予想）の１株当たり当期純利益は、公募予定株式数（454,000株）を含めた予定期中平均発行済株式数により算出し、オーバーアロットメントによる売出しに関する第三者割当増資分（最大147,700株）は考慮しておりません。
３．当社は、2026年８月14日付で普通株式１株につき４株の割合で株式分割を行っておりますが、上記では2026年５月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、１株当たり当期（四半期）純利益を算出しております。
４．2027年５月期（予想）の数値は、2026年５月15日開催の取締役会において承認された通期予算数値であり、同期第１四半期累計期間の実績は反映しておりません。なお、第１四半期累計期間の実績は概ね予算どおりに推移しております。

ご注意：この文書は一般に公表するための記者発表文であり、日本国内外を問わず一切の投資勧誘又はそれに類する行為を目的に作成されたものではありません。投資を行うに際しては、必ず当社が作成する「新株式発行並びに株式売出届出目論見書」（並びに訂正事項分）をご覧いただいた上で、投資家ご自身の判断で行うようお願いいたします。また、本記者発表文に記載されている当社の計画、見積もり、予測、予想その他の将来情報については、本記者発表文の作成時点における当社の判断又は考えに過ぎず、実際の当社の経営成績、財政状態その他の結果は、経済状況の変化、市場環境の変化及び他社との競合、外国為替相場の変動等により、本記者発表文の内容又は本記者発表文から推測される内容と大きく異なることがあります。

【2027年５月期業績予想の前提条件】

１．当社全体の見通し

当社は、「テクノロジーで医療格差を０にする」という理念のもと、メディカルイノベーション事業の単一セグメントにおいて、「メディカルプロダクト領域」及び「メディカルAX領域」の２つの領域で製品・サービスを展開しております。メディカルプロダクト領域では、乳児の頭蓋形状の矯正を目的とした医療機器である頭蓋形状矯正ヘルメット「ベビーバンド」を、3Dスキャナー及び3Dプリンターを活用して患者ごとにカスタムメイドで製造し、開発から製造・販売、治療管理までを自社で一気通貫して行っております。「ベビーバンド」の取扱医療機関数は306施設（2026年７月末時点）に達し、全国42都道府県で治療の提供が可能となっております。また、メディカルAX領域では、医療機器・医薬品メーカー等に義務付けられている品質管理業務をAI支援によりクラウド上で効率化するクラウド型eQMS「QMSmart」を2025年７月より提供しております。なお、当社売上高に占める各領域の割合は、2026年５月期実績においてメディカルプロダクト領域が99.2%、メディカルAX領域が0.8%であり、2027年５月期においても引き続きメディカルプロダクト領域が売上高の大部分を占める見込みであります。

頭蓋形状矯正ヘルメットの治療対象となる中等度以上の頭蓋変形を有する乳児は年間約18万人と推計される一方、実際に治療を受けている乳児は年間約１万人にとどまっており、治療対象者数との間に大きな乖離が存在しております。厚生労働省「薬事工業生産動態統計調査」によれば、同ヘルメットの国内販売数量は2023年度7,719個、2024年度9,603個、2025年度12,797個と拡大を続けており、治療に対する認知の高まりや取扱医療機関の増加を背景に、今後も市場の拡大が見込まれます。また、メディカルAX領域については、国内の医療機器・医薬品メーカー約14,000社を潜在的な顧客ターゲットと捉え、「QMSmart」の普及を図る方針であります。

これらの事業環境と事業戦略を踏まえ、2027年５月期の業績予想は、売上高1,917,174千円（前期比40.0%増）、営業利益481,966千円（同55.3%増）、経常利益478,668千円（同52.2%増）、当期純利益325,134千円（同45.4%増）を見込んでおります。

２．業績予想の前提条件

（１）売上高

当社は、メディカルイノベーション事業の単一セグメントであり、売上高は、メディカルプロダクト領域及びメディカルAX領域の２つの事業領域から構成されております。

メディカルプロダクト領域は、医療機関からの受注に基づき、患者ごとに製造した頭蓋形状矯正ヘルメット「ベビーバンド」を医療機関へ販売するものであり、製品が医療機関に納品され、検収された時点で売上高を計上しております。同領域の売上高は販売個数と販売単価により構成され、販売個数は取扱医療機関数により増減いたします。

メディカルAX領域は、医療機器及び医薬品メーカー等に対し、クラウド型eQMS「QMSmart」をプラン別の利用料により提供するものであり、契約期間にわたって利用料を売上高として計上しております。

ご注意：この文書は一般に公表するための記者発表文であり、日本国内外を問わず一切の投資勧誘又はそれに類する行為を目的に作成されたものではありません。投資を行うに際しては、必ず当社が作成する「新株式発行並びに株式売出届出目論見書」（並びに訂正事項分）をご覧いただいた上で、投資家ご自身の判断で行うようお願いいたします。また、本記者発表文に記載されている当社の計画、見積もり、予測、予想その他の将来情報については、本記者発表文の作成時点における当社の判断又は考えに過ぎず、実際の当社の経営成績、財政状態その他の結果は、経済状況の変化、市場環境の変化及び他社との競合、外国為替相場の変動等により、本記者発表文の内容又は本記者発表文から推測される内容と大きく異なることがあります。

①メディカルプロダクト領域

頭蓋形状矯正ヘルメットの売上高は、取扱医療機関ごとの積上げにより販売個数を算出し、これに販売単価を乗じて算定しております。主要な前提（KPI）は以下のとおりであります。

・取扱医療機関数：2026年５月期末の276施設から、2027年５月期末には404施設（128施設増、46.4%増）へ拡大する計画としております。取扱医療機関数は、2025年５月期に93施設、2026年５月期に113施設それぞれ増加しており、2027年５月期の新規開拓数は、これらの過去の増加実績を踏まえた水準としております。

・販売個数：9,305個（前期6,774個、前期比37.4%増）を計画しております。販売個数は、取扱医療機関ごとに積み上げて算出しております。既存の取扱医療機関については、2025年６月から2026年３月までの10か月間の月次販売実績を基礎として、取扱開始からの経過期間に応じて推計しております。新規開拓の医療機関については、過去に開拓した医療機関の販売実績及び取扱開始時期に応じて販売水準をランク分けしたうえで、ランクに応じた販売個数を設定しております。なお、当社の売上高には、医療機関の休業期間（年末年始・ゴールデンウィーク・お盆等）や冬季の医療機関の繁忙等の季節的要因による変動があり、過去の月次実績に基づく季節変動を月別計画に織り込んでおります。

・販売単価：前期実績と同水準の販売単価を前提としております。

以上により、メディカルプロダクト領域の売上高は1,861,024千円を見込んでおります。

②メディカルAX領域

クラウド型eQMS「QMSmart」を提供しており、契約社数に応じたプラン別の月額利用料を受領しております。売上見通しは、プラン別契約社数にプラン別月額利用料を乗じた売上を月次ベースで積み上げて算定しております。プラン別契約社数の推移については、サービスを開始した2025年７月から2026年５月までの営業活動及び広告宣伝等による契約獲得実績を基礎に、2027年５月期に予定している展示会出展・ウェビナー等の各施策を加味して月別の新規獲得数を推計しております。以上により、メディカルAX領域の売上高は56,150千円を見込んでおります。

以上の前提に基づき、2027年５月期の売上高は1,917,174千円（前期比40.0%増）を見込んでおります。

**（２）売上原価、売上総利益**

売上原価は、販売計画を基に原価要素別（材料費・労務費・製造経費）に分類して積み上げております。材料費は、過去実績を踏まえた予想仕入単価に販売計画個数を乗じて、労務費は、製造数の増加に伴う製造人員の増員を見込んで、製造経費は、製造数の増加に伴う消耗品費及び減価償却費の増加を見込んで、それぞれ算出しております。

この結果、2027年５月期の売上原価は389,339千円（前期比14.7%増）を見込んでおります。

以上の前提に基づき、2027年５月期の売上総利益は1,527,834千円（前期比48.3%増）、売上総利益率は79.7%（前期75.2%）を見込んでおります。

ご注意：この文書は一般に公表するための記者発表文であり、日本国内外を問わず一切の投資勧誘又はそれに類する行為を目的に作成されたものではありません。投資を行うに際しては、必ず当社が作成する「新株式発行並びに株式売出届出目論見書」（並びに訂正事項分）をご覧いただいた上で、投資家ご自身の判断で行うようお願いいたします。また、本記者発表文に記載されている当社の計画、見積もり、予測、予想その他の将来情報については、本記者発表文の作成時点における当社の判断又は考えに過ぎず、実際の当社の経営成績、財政状態その他の結果は、経済状況の変化、市場環境の変化及び他社との競合、外国為替相場の変動等により、本記者発表文の内容又は本記者発表文から推測される内容と大きく異なることがあります。

### （３）販売費及び一般管理費、営業利益

販売費及び一般管理費は、人件費及びその他の販管費で構成されております。

人件費は、各部門の人員計画に基づく人員数に一人当たり人件費を乗じて算定しており、事業規模の拡大に伴う増員及びベースアップを織り込んでおります。

その他の販管費は、主に広告宣伝費及び本社オフィスに係る地代家賃等で構成されております。広告宣伝費は、頭蓋形状矯正ヘルメットの認知拡大に向けたデジタル広告・啓発活動、及び「QMSmart」の展示会出展・ウェビナー等のリード獲得施策の強化を見込んで算出しております。地代家賃につきましては、賃貸借契約に基づく金額を計上しております。このほか、増員に伴う採用教育費等を織り込んでおります。

以上の前提に基づき、2027年５月期の販売費及び一般管理費は1,045,867千円（前期比45.3%増）、営業利益は481,966千円（前期比55.3%増）、売上高営業利益率は25.1%（前期22.7%）を見込んでおります。

### （４）営業外損益、経常利益

営業外収益は、主に受取家賃等を前期実績に基づき4,662千円計上しております。営業外費用は、借入金の支払利息に加え、株式上場にあたって一時的に発生する上場関連費用を含む7,960千円を見込んでおります。

以上の前提に基づき、2027年５月期の経常利益は478,668千円（前期比52.2%増）を見込んでおります。

### （５）特別損益、当期純利益

特別利益及び特別損失の発生は見込んでおりません。法人税等は、利益計画と見積税率に基づき算定し、法人税等調整額と合わせて計上しております。

以上の結果、2027年５月期の当期純利益は325,134千円（前期比45.4%増）を見込んでおります。

### 【業績予想に関するご留意事項】

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因によって異なる場合があります。

以　上

ご注意：この文書は一般に公表するための記者発表文であり、日本国内外を問わず一切の投資勧誘又はそれに類する行為を目的に作成されたものではありません。投資を行うに際しては、必ず当社が作成する「新株式発行並びに株式売出届出目論見書」（並びに訂正事項分）をご覧いただいた上で、投資家ご自身の判断で行うようお願いいたします。また、本記者発表文に記載されている当社の計画、見積もり、予測、予想その他の将来情報については、本記者発表文の作成時点における当社の判断又は考えに過ぎず、実際の当社の経営成績、財政状態その他の結果は、経済状況の変化、市場環境の変化及び他社との競合、外国為替相場の変動等により、本記者発表文の内容又は本記者発表文から推測される内容と大きく異なることがあります。